



# 伊豆の国市 議会だより

2007年5月1日発行  
No. 7

編集：伊豆の国市  
議会だより特別委員会  
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1  
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



待ちにまった天野公園オープン

## 3月定例会

一般質問 .....	2
委員会報告 .....	8
議案一覧 .....	12

議員の**問**いと  
行政の**答**え

# 一 般 質 問

一般質問は17名が行い、当局の考え方をたどりました。

## 循環型社会の

### 構築について

岩崎正義

営農経費削減の提言

**問**

てんぷら油・各種廃油をリサイクルして、ビニールハウスの暖房用燃料に活用してはどうか。

**答**

現段階では、資源の循環と野菜の売買による経済の循環を確立することが、農業振興の面でも先決と考えています。今後、資源と経済の循環の仕組みが確立した段階では、社会的な需要の動向を踏まえ、エネルギーへの転換をするための取り組みの検討も必要かと思えます。

農業に新たな収入を

**問**

新たな農業収入としてバイオ燃料作物を栽培してはどうか。

**答**

現段階では、まずはエネルギー作物よりも、食材として利用される作物を優

先して栽培していきたい。

しかしバイオ燃料は、地球温暖化防止対策、循環型社会の形成、農業や地域の活性化などに大きな期待を寄せられていますが、今後、実用化に向けての技術開発等が進み、商業的なレベルでの拡大が見込まれる可能性が示されれば、市としても農家の方々と共にバイオ燃料の原料作物の栽培について、検討をしていかなければならないと考えております。

## 葦山地区国指定史跡の

### 整備計画について

柳沢秀次

**問**

葦山地区の国指定史跡は、総額約二三億円で

土地買収をし、平成十四年三月に「守山中世史跡群整備計画」が、平成二八年までの期間で策定公表されました。

五年が経過をし、発掘や史跡整備計画委員会開催も暫減傾向です。今後どうされるつもりで

すか。

**答**

守山史跡整備計画の発掘は、平成二十年で終了予定です。発掘調査終了後、その成果をまとめ、整備計画を新たに策定して、未来に継承できる整備計画を目指したいと考えています。

**問**

生ゴミ堆肥化について  
第一次伊豆の国市総合計画で、「循環型社会」

**答**

ゴミ焼却場は二市で進めているが、生ゴミの堆肥化は十九年度に堆肥化計画と施設整備計画を策定して伊豆の国市独自で計画実行します。尚、施設の設定は行政で行い、日常運営は民間委託を考えています。

## 早期実現を

古屋鋭治

生活バスの運行

**問**

市内の生活バス運行は、市民ニーズを把握しての施策展開が必要と考えるが、

**答**

現時点市民ニーズを把握していないため、ご指摘の市街地、中山間地、交通空白地域でどのように困っ



発掘中の北条氏邸跡



障害者用施設建設予定地(ぬくもりの里西側)

ているのか把握し、費用対効果も検討し調査する。

葦山特養ホーム

**問**

葦山の老人ホーム整備の進捗状況、要介護者数把握、入所待機者解消策は。

**答**

十九年度事業者を県に申請中で、県の判断待ち。入所待機者数は、二月末時点ぬくもりの里百二十二名、いちこの里百五十一名、合計二百七十三名。重複申し込みもあり実数は百七十名程度。待機者解消は、老人ホーム七十床の新設を急ぐ。その他に六十八床が新設される予定。

障害者用施設

**問**

障害者用施設の早期実現が求められている。市の考えと障害者数の把握は。

**答**

大仁地区の福祉村西側に、障害者の生活支援入所・授産施設整備が必要と考えており、障害者団体や民間事業者と具体的協議を進める。障害者人数は手帳交付数から三月現在合計二千四百四名(身体千七百三十名、知的二百三十四名、精神百四十名)。

生活に安全・安心を

後藤眞一

大規模地震の防災対策

**問**

大規模地震の防災対策の再点検をすべきでは。

**答**

地下式消火栓の改善促進や各種点検、田方医師会との救護訓練などを地域自主防と共に実施したい。施設の耐震化は、耐震診断リストと耐震改修促進計画を策定し公表する。

災害発生後の対策として、関係業者と協定締結。企業には、自主防災と連携し、協力を得たい。

たい。

たい。

コミュニティバス運行研究

**問**

市民や交通生活弱者の利便性確保と、循環型再生可能エネルギー開発研究をすべきでは。

**答**

(岩崎・古屋議員への回答を参照)

鍋沢川浸水防除対策

**問**

流域の護岸改修と旭化成神島工場移転跡地の浸水防除対策利用。上流部の調整池等の設置の考えは。

**答**

内水対策を検討中で、調査し改修計画を作成して検討する。鉄橋下改修の基本設計はできている。工場跡地は県費補助事業で、排水機場や排水路改修等がで



伊豆箱根鉄道鍋沢川鉄橋

きるように、県と協議を続けたい。

広域ごみ処理施設建設は

市民参加で計画の立て直しを

三好陽子

**問**

ごみ処理基本計画や候補地選定等は、コンサルト会社へ委託するのではなく、多数の市民が参加する委員会を立ち上げ行すべきではないか。

**答**

ごみ処理基本計画は、対策委員会を立ち上げ、市民参加で行っています。候補地選定は、関係する地域の混乱がないよう、第三者機関のコンサルトへ、四力所の最終候補地の総合評価までを委託し、二市の準備会で最終候補地を選定しました。

伊豆保健医療センター

**問**

公設化問題の結論は医師の安定的確保のため、公設民営型を基本とした一部事務組合化の準備を進めているが、地域医療振興協会への管理運営委託についての結論と、今後の医師確保の対策は。

**答**

費用負担が高額となることが想定され、見合わせることにしました。今後は、協力可能な学校法人・医療法人等の発掘や運営も検討し、医師不足の早期改善をしていきたい。

### 戸別受信機なくす デジタル化は

防災対策の後退

田中正男

**問** 五年計画で進めている行政同報無線のデジタル化事業は、現在使用中の戸別受信機二五四五台を使えないのは防災対策の後退ではないか。

**答** 戸別受信機は、デジタル対応機種を導入を進める予定である。現在利用者全戸ではなく貸与条件を設けて、該当者のみへの貸与となる。

**問** デジタル化ではなく、充分使えるアナログ方式の物を残し、市内全戸に拡大する方が安価で効果的である。計画変更をすべきではないか。

**答** デジタル化は将来的に様々な活用が可能。安全安心を目指し、現在の計画

を進めていきたい。

反射炉付近の道路整備を

**問** 反射炉手前の県道は歩道もなく狭くて路肩も未整備。県への要望等は。

市道二一七(反射炉高原

線)の反射炉入り口から滝の園までが、狭く危険で通行に苦労している。拡幅改良を。

**答** 市としても現状で良いとはしてない。地元沿線の方の理解が得られれば県に要望していく。

今後、高原浮橋道路や美術館開館など車両の増加が予想される。地元の理解が得られれば、拡幅計画を進めたい。

### オストメイトトイレ 設置について

山下孝志

**問** オストメイトの方は、車椅子使用者と違い、外見では健常者に見えるため、「見えない障害者」とも言われ

ています。しかし、外出した際「オストメイトトイレ」がなく大変困っています。オストメイトトイレを必要とする市民数は。

**答** 膀胱・直腸機能障害による身体障害手帳交付者は五七名です。

**問** 設置計画を作り、順次整備を進めるべきと考えるが。

**答** オストメイトの社会参加を促進するため、今後は、公共施設を中心に整備を図っていきたくと考えています。

オストメイトとは...  
機能的に膀胱や直腸に障害を負ったため、手術によって、人工的に腹部へ人工肛門や人工膀胱の「排泄口」を装着した人。

オストメイトの方は、便や尿を溜めておくための袋を腹部に装着しています。そのための特別な設備を備えたトイレ。

### 健全な財政運営の 対策は

土屋紀男

**問** 健全な財政運営や、市税等の収入確保のためどのような施策を考えているか。

**答** 市税は、自主財源の中心である。市は、基本構想に基づいた事業を展開し、住民に快適な住環境を整え、魅力あるまちづくりをすることに、人が集まり、消費が増え、農業・商工業を発展させ、市税収入の向上を図っていく。また、徴収率を上げることにも必要不可欠と考えている。

**問** 優良企業の誘致及び起業促進の施策は、優良企業の誘致や起業促進の制度を何か考えているか。

**答** 優良企業の誘致や税収・雇用対策のために、いくつかの自治体で実施してい

る企業立地促進の補助制度について、積極的に研究し、工場跡地等の遊休地を有効活用できるよう、優遇措置や助成制度を整備していきたい。

**問** 旧スポーツワールド跡地にスポーツ施設を

**答** 旧スポーツワールド跡地に観光部門とタイアップし、充実したスポーツ施設の建設が必要と考えるが、跡地利用は、市の財政状況を的確に捉え、慎重に考えていきたい。



旧スポーツワールド跡地



ルールを守ってみんなで仲良く遊ぼう(天野公園)

天野公園の

使用開始について

大沢秀光

問

公園の規模が拡大し、テニスコートに夜間照明が設置された。今後の管理・運営はどうするのか。

答

利用時間が午後九時となり、管理業務増となるため、四人でローテーションを組み、業務を行う。

問

遊具の安全性は確保されているか。

答

全て安全に関する基準を満たし、保証されている。そして、「あそびかたのちゅうい」の看板を各遊具脇に設置してある。

問

長岡南浴場新築工事について

北浴場を整備し、南浴場は建て替えないはずだったのどうしてか。

答

観光的要素から、浴場組合に対し新築する旨を確認し、新市に引き継がれ現在に至っている。

問

長岡大衆浴場組合の財産を、旧伊豆長岡町に移管する約束だったが、どのような処理をしたか。

答

建設することになり、新市に引き継がれた。浴場組合は、解散経費と解散までの運営経費を除いた組合財産を、市に寄付する方向で検討している。

男女共同参画社会について

松下善洋

問

今後の姿勢と推進する施策は。

答

市の計画策定には、多くの市民の意見を取り入れた計画を目指し、平成十九・二十年度で策定します。市民アンケートを実施し、計画の素案作りを行ないます。

問

女性の登用は、考えているのか。

答

審議会等の委員への登用や、女性が活躍しやすい社会を作るための支援が必要であると考えます。

問

行財政改革について

進捗状況と、その評価について。

答

市行財政改革大綱の基本方針に即して、事務事業の見直し、行政情報の提供、財源の確保、人材の育成を図る中で、改革の諸事業が行なわれています。

具体的には指定管理者制度の導入・入札方法の改善等があります。

問

今後の取り組みについて。

答

現在の取り組み項目は、今後も推進して行きませんが、行政評価システムの導入や未利用資産の活用等について、検討して行きます。

施政方針について

土屋源由

高度医療機関の集積

問

高度医療機関の集積とは、何を指すのですか。

答

既存の医療機関でいえば順天堂大学付属静岡病院や伊豆保健医療センター等であると認識しています。それぞれが連携して最大の効果を発揮できるよう、行政が連絡調整役を担うべきと考えます。また、ドクターヘリや救急車が支障なく運行できるように周辺環境づくりへの配慮等も必

要です。

集積については、医療施設や人的なものも含めて、総合計画に位置付けています。看護師不足も叫ばれていますので、現状を確認の上、行政として積極的に協力していくべきであると考

問

教育の充実

答

教育の充実には、外国人講師だけでなく、非常勤職員は、放課後児童教室関係に三十一人、保育園関係が二十八人、幼稚園関係が十一人、小学校関係が二十六人、中学校関係が九人で、合計百五人です。

問

外国人講師とともに子供の教育に直接かかわる非常勤職員を充実させることや、諸教育施設を充実させることも、未来を担う人を育むことになると考えています。

## 楠木揚水場(江間用水)の 施設整備について

萩原眞琴

**問** 布設から三十年経過し、平成十六年～二十年度内に、制水弁等パイプラインの用排水施設整備が計画されている。進行状況はどうか。

**答** 県と他の補助事業で採択できるよう調整している。パイプラインの老朽化は激しく早期改修の必要性は十分認識している。整備事業

費の確保に努力したい。揚水場ポンプ二基の取替えは十八・十九年度で実施する。

**問** 東海地震等の大規模災害発生時、パイプラインの復旧には大変な日数がかかる。当面の整備でなく災害を考慮し対応改良工事を願いたい。

**答** 地中に埋設されたパイプラインの損傷破壊は予想される。早期復旧についての改修、災害時の対応等検討していかねばならないと考える。

## 安全の為のスクールゾーン 並びに歩道の点検について

伊藤泰伊

**問** 「子供たちを安全に」との思いで、朝の登校時間に通学路へ立たせていただき、早一年が過ぎようとしております。特に雨の日、低学年は傘で足元しか見えないので、危ないと思ったことが何回もあります。子供たちの安全・安心のための伊豆の国市スクールゾーンの総点検をすべきではありませんか。

**答** 毎年、小中学校を対象に「主要通学路調査」を実施しており、各学校から提出された資料を取りまとめ、スクールゾーンや歩道の点検調査を行っています。危険箇所の対策については、主要通学路を優先的に可能なものから実施しています。

## 信号機に

音声案内機能の設置を

**問**

国道四一四号線、かばき水産前は、事故の多発箇所であります。目の不自由な人のために信号機に音声案内機能の設置をすべきではありませんか。

**答**

大仁警察署交通課規制係と協議し、市で対応できるものは市で、市で対応できないものは、市から大仁署交通課経由にて県公安委員会へ要望書を提出しております。

## 合併特例債について

板垣紀夫

**問**

合併特例債の適用可能な事業とは。

**答**

「合併後の一体性の速やかな確立を図るため」や「均衡ある発展に資するため」、「合併後の市の建設を総合的かつ効果的に推進するため」に行なう公共的施設の整備事業である。

**問**

当市で合併特例債を活用した事業は。

**答**

平成十七年度は合併支援道路に二四二〇万円。平成十八年度は合併支援道路分として、三五〇〇万円、市道大一一〇一(宗光寺)南条)拡幅事業に七〇三〇万円、行政無線事業に五二〇〇万円。平成十九年度予算では、合併支援道路に四八六〇万円、市道大一一〇一拡幅に五七〇〇万円、行政無線整備事業に一億三八〇〇万円を計上している。



老朽化したバルブ(楠木揚水場)

たい。

**答** 市財政事情を踏まえた上で見直し、整備計画を検討していきたい。

**問** 非常災害時、使用可能な旧水路の復帰活用整備計画をどう考えるか。先人の皆様が苦労した歴史ある楠木天野揚水場なので、合併時の確約どおり永代維持管理の引継ぎを。

**答**

市財政事情を踏まえた上で見直し、整備計画を検討していきたい。

**問** 毎年、小中学校を対象に「主要通学路調査」を実施しており、各学校から提出された資料を取りまとめ、スクールゾーンや歩道の点検調査を行っています。危険箇所の対策については、主要通学路を優先的に可能なものから実施しています。



音のでる信号機の設置を

**問** 今後、予定の合併特例債事業は。

**答** 合併特例債事業は、三〇%の自己財源で事業

ができる有利な条件の事業債であるので、新市まちづくり計画に基づき、事業選択の上、それを活用して行きたい。

### 入札契約制度の改善

水口成男

**問** ランク付け制度により公正な競争が阻害される

ことがないように、ランク間の弾力的運用等に配慮されているか。

**答** 指名参加願いの提出のあった業者の経営審査

点数に工事成績等を加味し、工事を適切かつ確実に遂行する能力を持った業者をランク付けし、建設業者等選定委員会において選定し、工事金額、工事の内容や難易度などにより指名競争入札により実施しています。また、状況に心じ弾力的な運用に

より入札を行なっております。

市指定文化財維持管理

**問** 個人所有の市指定文化財の維持管理の支援は。

**答** 文化財保護審議会の答申を踏まえて、文化財

の保存や修理の計画を策定し、個人所有のものであれば、市指定文化財所有者と協議し、補助制度を活用したいと考えております。



森林整備計画について

**問** 森の力再生事業の実績は。

**答** 葦山多田向峠、大仁浮橋地区などの三カ所、

二七・七四ヘクタールの荒廃森林が対象で、整備完了しました。

### 伊豆の国市都市公園条例の見直しについて

飯田史朗

**問** 市内二五カ所ある都市公園の管理について、

犬の糞やゴミの不法投棄、騒音等の問題があり、利用者のモラル向上が求められている。

条例見直しと、旧町の「町をきれいにする暫定施行条例」の検討をすべきではないか。

**答** 今、公園について寄せられる苦

情は、犬の糞やゴミ問題である。取り締まる規程

は既に定められているが、モラルの問題と考える。今後は、モラル向上について、使用上の注意等の看板を掲げて対応したい。



昭和32年当時の狩野川旧河道 (大仁町誌白山堂村史より転載)

る時に、市当局はどのような事業を計画しているか。また、台風後に整備された狩野川の現状と整備前が表わされたパネルの設置をする考えはないか。

**答** 今年は、関係自治会と調整・協議を行なう。式典の開催時期は、平成二十年七月を予定したい。

万九千円の削減であるが、予算ではいくらなのか。

**答** 十九年度予算にはわず

かしが表れていないが、問題点を確認したので、今後早急に改善していく。

**問** 職員定員管理、給与の適正化による効果は。

**答** 十九年度は五五二〇万円の効果である。

**問** 改革プランでは、十九年度七六〇七万四千元

見込んでいる税の徴収効果は。

**答** 十八年度効果は五九一〇万円であった。十九年度も市税の確保に努める。

国民健康保険医療費の

**問** 過払い通知について

厚生労働省が市町村に求めている、患者が払い過ぎた医療費の返還を知ら

せる「減額査定通知」を出すべきと考えるが、今後出すか。

**答** 通知は保留している。今後は検討する。

### 十九年度予算と行財政改革の成果について

増島一良

**問** 行財政改革による経費節減等の財政効果が十

九年度予算にどう反映されているか。「改革プラン」では補助金の整理合理化で二七一五

狩野川台風

五十周年事業について

**問** 平成二十年に狩野川台風来襲五十周年を迎え

# 委員会の報告

4 常任委員会に付託された議案の審査の報告です。付託された議案は詳細に審査され全て原案のとおり決しました。

## 総務委員会

平成十九年度一般会計予算

安全、安心、健康の

まちづくり推進事業について

本事業は、医食同源の理念の

下に本年度から進めている中国

野菜の試験栽培を切り口に、

「農業」を重視した資源循環と

経済循環による伊豆の国市型の

健康文化を創るものです。

試作栽培や試作料理の結果

を踏まえ、資源循環と経済循

環のモデルを立ち上げ、本格

的な廃棄物系バイオマス資源

による循環型の社会システム

を構築するものです。

事業の内容は、食品残渣の

調査をした旅館と畜糞調査を

した酪農農家、民間の堆肥化

施設、そして、中国野菜等の

試験栽培研究協力農家の協力

を得て行つたものです。

ウェルネスマネジメント

推進事業について

高齢化の進展に伴う医療費

や介護費負担の増大、ライフスタイルの変化に起因する生活習慣病患者の増加、青少年や子供の体力低下など、市民の健康にかかわる問題が深刻さを増しています。

伊豆の国市型ウェルネスマ

ネジメントプランは、こうし

た認識を踏まえ県が推進する

ファルマバレープロジェクト

と連携し、「食と農」など伊豆

の国市独自の戦略にそって、

市民のライフステージに対応

した効果的な健康づくりのマ

ネジメントシステムを開発し、

官民一体となり市民の健康づ

くりの社会システムを構築す

るものです。

十九年度は、医療費と介護

給付費を抑制するための伊豆

の国市型ウェルネスマネジメント

に関する基本計画を策定

します。

国際化推進事業(居住外国人対

策事業)について

市内には、五六七名の外国

人登録者がいます。市民生活で地域住民とトラブルが発生しても、行政に届いていないのが現状です。

そこで、外国

人に関する生活

の現状とトラブル

に対する対応

を調査し、市が

対策を行うもの

です。

在住外国人向

けに、行政サービスの内容や

緊急時の相談先、災害時の対

応など生活マニュアル的な冊

子を製作し配付します。

流域生活圏一体化事業について

市内各地域で祭事の際に行

われている「しゃぎり」を一

箇所に集め大会を開催し、市

民の一体感の醸成を図るもの

です。

各種団体は、合併後にそれ

ぞれ一つに統合され、市民の一体感を醸成する取り組みは進んでいます。しかし、市民生活に密着した地域からみるとまだ十分とはいえません。



祭典での子どもしゃぎり

そこで、各地区で行われていて、子供から大人までが一緒に出来る伝統的な民俗芸能であり、地域ぐるみで交流が図れるものとして「しゃぎり」を取り上げました。



福祉環境委員会

平成十九年度一般会計予算  
健康福祉部所管の

審査内容について

**問** 児童扶養手当が毎年増加しております。現状はどのような状況になっていますか。

**答** 母子家庭は毎年増加しております。就労支援・育児支援・育児相談・虐待に対する家庭児童相談員の設置等、いろいろな支援を行っておりますが、母子家庭認定後の生活実態・所得把握など、困難な課題が多くあります。

**問** 高齢者福祉タクシー等利用助成費は、昨年の年額一万四四〇〇円から平成十九年度は一万円に引き下げた理由は何ですか。

**答** 介護保険事業計画における高齢者人口の伸び率等を換算し、合併当初の四〇〇〇万円までに予算を押しさえたことから、一万円の額を算定しました。外出に不便な対象者に

絞る考え方もありましたが、七五歳以上の住民の方に幅広く福祉サービスを提供している実態を考慮し、金額を抑えることで制度を維持していきたいと考えました。

**問** 除細動器(AED)は非常に有効ですが、現在、どこに何台置いてありますか。

**答** 除細動器(AED)は借り上げリース契約で、長岡・葦山・大仁の各庁舎に一台ずつ置いてあります。

環境部所管の審査内容について

**問** 生ゴミ堆肥化について、どのような事業を実施しましたか。

**答** 生ゴミ排出先の旅館のアンケートや酪農家の実態調査、あるいは既存堆肥の成分や残留農薬の分析等を実施しました。

**問** 安心、安全、健康のまちづくり推進事業の生ゴミ堆肥化の範囲はどの程度を考えていますか。

**答** 当面は、モデルケースとして旅館等の食品残渣の堆肥化を進め、一般家庭への波及や施設整備も段階的に進めていきたいです。

**問** 燃やせるゴミの量が増えているが、要因をどのように捉えていますか。

**答** 要因については、いろいろ考えられますが、一つはラップやチューブ類で汚れたものが燃やせるゴミで出せるようになったことや、まだまだ分別の徹底ができていない部分もあるように思います。手数料の影響などもあると思いますので、これらを分析して今後の分別のあり方や手数料のあり方を検証していきたいです。

**問** 伊豆市との広域廃棄物処理施設について、候補地の地元から反対意見があるが、今後どうして行きますか。

**答** 反対の声明文は出されていますが、明確な反対理由が示されていませんので、今後さ

らにその理由や、懸念事項を明確にしていく必要があります。今後も、行政としての説明責任を果たしていきたいと考えています。

**問** 広域廃棄物処理施設整備事業に係る予算は、現段階での候補地状況を見ると執行が可能ですか。

**答** 一市とも施設整備は急務であります。

市の環境対策事業として政策的に行なうものであり、当初予算計上をしております。

**問** 大仁し尿処理場の老朽化に関する調査結果はどう

なりましたか。

**答** 調査の中で大仁・長岡・葦山の各し尿処理施設全体を見直し、大仁し尿処理場の廃止を含め検討した結果、平成二二年度以降に廃止が望ましいとの指針が出ました。残りの二施設の整備も考慮しながら今後の方向を出していきます。



大仁し尿処理場

## 観光建設委員会

平成十九年度一般会計予算

## 農業振興課

農業振興課は、安全、安心、健康のまちづくり推進事業では、栽培試験として春と秋を予定し、中国野菜以外に健康に役立つ機能性の高い野菜の試験も計画しています。土地改良事業では、葦山揚水場の真空ポンプの更新を補助します。

高原浮橋農業集落道整備事業は、平成十九年度より三年で工事の施行予定で県に対して負担をします。浮橋自然環境生態系保全施設整備は、一年休止して平成二十年度に進めます。

## 観光商工課

観光商工課は、街路灯維持費交付金が、主に大仁地区の交付金であることから不公平の無い様、解決に向けて更に努力することです。

江川邸駐車場観光トイレ・

案内場整備では、コンペで設計者を決める予定で、男女・身障者用のトイレと観光案内場兼休憩場を整備する計画です。

長岡南浴場整備は、六月中旬に解体し秋口着工で、概要は木造平屋建てで屋外に足湯を併設する予定のことです。

## 文化振興課

文化振興課は、芸術文化振興として実行委員会を検討し、事業は十四本、「アクシスのゆづべ」・「あなたのステージ」は、基本的に毎月実施します。国民文化祭準備事業では、平成二十一年の静岡県で行われる国民文化祭に向けて実行委員会を立ち上げ、種目としては、演劇、オペラ、合唱祭を行いたいとのことです。

## 建設課

建設課は、国道道整備事業として合併支援道路で古奈地区、神島地区、葦山多田地区

と地方特定道路で浮橋公民館前の道路改良、県単道路改築事業で葦山改善センター横の交差点改良に、県道整備費の負担をします。急傾斜地対策の整備状況は、大仁地区が約半分、葦山地区が三〇四割位、長岡地区が一〇二割位で、危険区域を調べた中で一番被害があると予想されることから順に進めていきたいとの事です。道路施設維持補修は、前年に比べて金額が少ないが、効率的に対応しながら工事を進め、地区要望に対しては応えていくとのことです。

旭台都市下水路整備事業は、最終年度で完成すれば毎秒五



合併支援道路工事（古奈交差点）

トンの能力の施設となります。長岡都市下水路整備事業は、平成二十二年度までの工事で、今年度は建物の物件調査と用地測量を行ない、ボックスカルバートの工事も進めたいとのことです。小坂都市下水路整備事業は、北部は貯水池用地の購入と南部は樋門の設置と水路の改修の予定のことです。

## 都市計画課

都市計画課は、街路整備事業（まち交）で、葦一十九号線の道路改良部分と農協北条支店西側の道路拡幅部分、その奥の駐車場用地を購入予定です。しかし、奥は、史跡があつて道路の拡幅が出来ないため、整備する駐車場にバスを置いて歩いてもらう計画です。更に地元と協議をしていくとのことです。駐車場の管理も検討するように意見もありました。古奈湯元公園整備は、足湯とあづまやと健康

遊歩道が整備され完成することです。守山西公園整備は、敷地造成と擁壁工を進めるとのことです。



守山西公園整備

平成十九年度上水道事業会計予算  
平成十九年度上水道事業会計予算では、審査の結果として、水道料金や水道加入金手数料、量水器の料金の違つ市三制度に対して活発な意見が出され、伊豆の国市民が一体化するには、どうしても必要な作業であり、早急に審議会等を立ち上げるなど目に見える行動を起こすべきとの意見を付けて、採択されました。

文教委員会

平成十八年度一般会計補正予算

・放課後児童教室整備

一億三六〇〇万円

・図書館改修事業

二五〇〇万円

**問** 市内に放課後児童教室が整備されますが、その内容は。

**答** 長岡南小・北小・葦山小・葦山南小学校の四カ所に、放課後児童教室が整備されます。

四施設とも四十人規模の受入れを予定し、平屋木造建てでバリアフリー化し、障害者用トイレも設置し安心して預け



放課後児童教室 すずかけ館（大仁小）

られ、子供たちには安らぎを与えられるような施設を建設していく計画です。

**問** 図書館改修事業の内容は。

**答** 旧大仁町教育委員会の会議室及び事務室を一部改修し、一館に図書を整理管理するための改修工事である。また、新たな書架の購入のための補正事業です。

**問** 大仁中学校建設実施設計が示されましたが、その内容は。

**答** 設計業者も選考され、生徒・先生・PTA等からアンケート調査し、意見を取り入れ環境に配慮した。学校機能を有する施設の設計を計画しています。なお、第二グラウンドは、学校活動や管理上からもハーフコートとして設計をされています。

**問** 市内小中学校関係のパソコンの学習効果は。

**答** 情報教育やクラブ活動等で活用し、文章や表の作成、イン

ターネットやメールのやり取り等、生徒の情報能力を深めるのに役立つています。また、各小中学校では、パソコンになじみ興味を持たせる程度の指導もしています。

**問** 準要保護・要保護制度の仕組みと現状は。

**答** この制度は、生活困窮家庭で、学用品や修学旅行費等の支払いが困難な保護者から、家族構成や家庭状況を記入する申請書が学校に提出され、学校長の所見を記入します。また、家庭のこと、地域のことを理解している民生委員にも所見を頂き、この申請案件を教育委員会で議案として取り上げ、認定の可否について協議をします。毎月開催しているので、年度の途中でも追加認定をしています。なお、認定件数も、多少増加しているのが現状です。

**問** A-LT（外国人講師）派遣の効果は。

**答** 市内三中学校に一人ずつの

外国人講師を派遣し、生徒が直接生の英語の発音を聞くことはもちろんのこと、昼休み等も直に接することにより、英語教育の進歩が図られる。また、小学校へも出向き、会話をしたりゲームを楽しんだりして英語に親しむことで、効果は上がっていると思われる。

**問** いじめ一〇番事業の内容は。

**答** 田方教育会館内に設置され、さまざまな悩みの相談を電話で受け答えしている事業で、親からの相談が最も多い。また、高校生等からの相談もあり、今後も気軽に利用していただくようPRに努めて行きます。

**問** 低学年学習支援員とは。

**答** 小学校に入学したばかりの一年生の指導で、担任の先生が一人では見切れない所を、子供教育に豊かな経験を持っている人に、支援員として手伝ってもらっている事業で、

皆さんから大変喜ばれてい

**問** 安全支援員事業とは。

**答** 学校において、子供たちの安全を守るために、登下校の安全確認や、校内外を定期的に巡回し、不審者対策にも対応できるような体制で業務を行っている事業です。

**問** 伝統芸能育成事業とは。

**答** 新能の補助事業で、市内小

学校五・六年生に、日本文化である「能」等の古典芸能を子供のうちから興味を持たせ、育成させていく事業で、年一回行われています。



大仁中学校建設予定地

# 平成19年 第1回(3月)伊豆の国市議会定例会

平成19年第1回定例会を、2月27日から3月23日まで開催しました。市長から提出された平成19年度予算をはじめ、35議案をすべて原案どおり可決しました。

## 可決承認された議案一覧

- ・ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市高齢者介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市高齢者介護予防拠点施設の指定管理者の指定期間の変更について
- ・ 伊豆の国市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆長岡町土地管理対策基金条例及び伊豆の国市土地管理特別会計条例を廃止する条例の制定について
- ・ 静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更の協議について
- ・ 規約変更の協議について
- ・ 田方地区消防組合・田方地区交通災害共済組合・三島市外五ヶ市町箱根山組合・駿豆地区広域市町村圏協議会・三島市、伊豆市及び伊豆の国市電算センター協議会・駿豆学園管理組合・田方救急医療協議会
- ・ 伊豆の国市副市長定数条例の制定について
- ・ 伊豆の国市高齢者介護予防拠点施設の指定管理者の指定について
- ・ 伊豆の国市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- ・ 伊豆の国市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 伊豆の国市上水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 平成18年度伊豆の国市補正予算
- ・ 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・簡易水道等事業特別会計・下水道事業特別会計
- ・ 平成19年度伊豆の国市予算
- ・ 一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・楠木及び天野揚水場管理特別会計・簡易水道等事業特別会計・下水道事業特別会計・上水道事業会計
- ・ 伊豆の国市教育委員会委員の任命について

## どうなっているの議会政務調査費？

マスコミでも話題になっている政務調査費は、議員の調査研究における必要経費の一部として「議会政務調査費の条例」に基づき交付されるものです。しかし、伊豆の国市議会においては、この条例の定めがなく調査費は支給されておりません。

岩崎正義議員は、4月8日の静岡県議会議員選挙立候補に伴い、選挙告示日の3月30日に議員資格を失いました。このため伊豆の国市議会議員は22名(定数24名)となりました。

## 編集後記

現在の議会だより特別委員会による編集は、本号が最後となりました。

市民の皆さまに議会のことや行政のことが少しでも伝わるように、どうしても読んで頂けるかと、構成や文章のわかりやすさ、効果的な写真やイラストなど、毎回苦勞しながら八人の委員が、知恵と工夫を出し合い編集してきました。

三月定例会は、補正予算、新年度予算、十七人の一般質問など内容が多く、限られた紙面のため、少し窮屈になっています。

次回からは、新しい委員構成で編集の予定です。今後の議会だよりにご期待ください。

## 議会だより特別委員会

委員長	古屋 鋭治
副委員長	菊池 俊彦
委員	伊藤 泰伊
"	大沢 秀光
"	後藤 眞一
"	田中 正男
"	三好 陽子
"	柳沢 秀次